

会員会社向けセミナー「価値創造に貢献する内部監査」を開催

～ 当協会ですべて「内部監査」をテーマにセミナー ～

一般社団法人日本損害保険協会(会長：城田 宏明)では、会員会社のガバナンス態勢強化を後押しするため、10月21日(月)に損保会館で、内部監査に関する会員会社向けのセミナーを開催しました。内部監査をテーマにしたセミナーは当協会では初めての開催となります。

当協会では、法令等遵守および顧客本位の業務運営の徹底、健全な競争環境の実現に向けて、各種ガイドライン等の策定を進めていますが、今後、会員各社がこれらの新しい内容を社内規定等に反映し、実効性を高めていくことが期待されます。この過程において、第3線である内部監査部門が、前向きな組織変革に貢献するために担う役割等について理解を深めるため、佐々木清隆氏(一橋大学大学院経営管理研究科客員教授、元金融庁総合政策局長)をお招きし、「価値創造に貢献する内部監査」と題してご講演をいただきました。

開催に際し、中條裕太企画部会長から、「業界全体で商慣習を抜本的に見直し、真にお客さまや社会から信頼される業界となり、これまで以上に損害保険が社会課題の解決に貢献していくためには、各社が単に“ルールを守る”または“規制に従う”という受け身の組織運営ではなく、企業価値の向上に向けた内部監査態勢を構築すること、そのために前向きに組織を変革していくことが鍵になってくる」と挨拶がありました。

佐々木氏による講演の前半では、公益財団法人日本内部監査研究所の「内部監査の将来について考える研究会」の報告書のエッセンスを解説いただき、経営としての価値創造プロセスにおける内部監査部門の関与の必要性について、理解を深めました。後半は、「近時の損保を巡る問題からの気づき」として、金融行政のご経験も踏まえた損保業界へのアドバイスをいただきました。

セミナーには、会員各社の経営企画部門や内部監査部門のマネージャークラスを中心に約100名の参加があり、「内部監査部門の量的・質的なリソース確保を経営課題として捉えることが重要と感じた」などの感想も寄せられました。

当協会では、お客さまや社会からの信頼回復に向け、さらにガイドライン等の策定を進めるとともに、会員各社の実効性確保の観点から、引き続き、様々な施策を実施してまいります。



講師：佐々木清隆氏



挨拶：中條部会長



会場の様子